

若手PT・OTの育成 【H27新規】

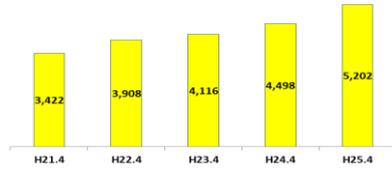
現状

○有資格者数は一貫として増加傾向



(資料) PT：日本理学療法士協会HP
OT：作業療法白書2010、
広島県作業療法士会HP等

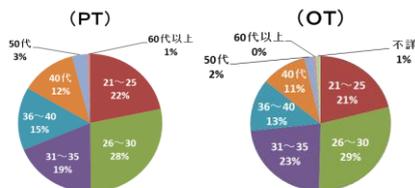
○都内回復期リハ病床数も順調に増加



(資料) 医療政策課調べ (関東信越厚生局に照会)

○年齢構成を見ると20代が全体の約5割

(資料) PT：日本理学療法士協会 (26.6時点)
OT：作業療法白書2010 (22年度)



○各種団体等が実施している育成研修は、症例検討会等の座学中心の研修が多数

【取組の方向性】

- 高齢化の進展に伴う、リハビリニーズの増加
- 職務経験の少ない若手リハ職員の増加

現時点から若手リハ職員が実務経験を積める育成体制の整備に着手し、質の向上・底上げを図っていく

【今後のスケジュール案】

- | | | |
|---------|------|--------------------|
| ○平成27年度 | 4~6月 | 実施要綱等の作成、各センターとの調整 |
| | 7月 | 実施病院(3病院)の決定 |
| | 8~9月 | 医療機関等へ周知 |
| ○平成28年度 | 10月 | 実習生の受入開始(3病院×12名) |
| | 1月 | 実施病院(6病院)の決定 |
| ○平成28年度 | 4月 | 実習生の受入(6病院×24名) |
| ○平成29年度 | 4月 | 実習生の受入(12病院×24名) |

取組内容(案)

平成27年度予算案 1,543千円(実習謝礼金・事務経費)

地域リハ支援センターの既存事業に、新たな事業を追加

≪追加項目(新規)≫ 若手PT・OTの育成(他施設からの実習生受入)

- (育成規模)
- 27年度(6か月) 3センター×12名 ※段階的に拡充
 - 28年度 6センター×24名
 - 29年度 12センター×24名
- (応募方法)
- 地域リハ支援センターは自施設で受けられる実務研修内容等を都に報告する。都は、それらの情報をホームページに掲載等を行い、事業周知する。
 - 医療機関等から応募用紙が地域リハ支援センターに提出され、センターは、応募用紙を基に日程調整等を行い、受け入れる。
- (研修期間)
- 1名当たり10日間とする。
- (委託料)
- 実習生の受入に係る委託料は、実績(受入人数・日数)に応じて支出

【受入体制の確保(例)】

地域のリハビリ資源を活用し、受入体制を整備

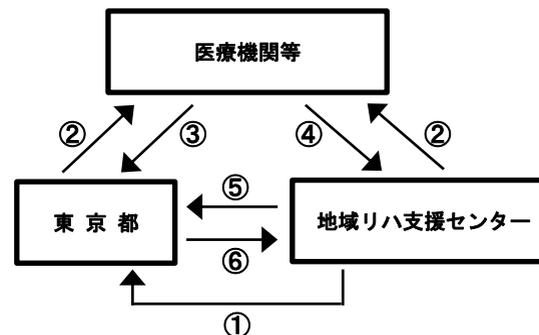
- ①センターで研修実施
- ② 近隣施設と契約締結を行い、センター以外で研修実施



契約締結



【事業スキーム】 ※①~⑥への流れ



- ① 自施設で受けられる実務研修内容・疾病等を都に情報提供
- ② 事業の周知
【東京都】 ホームページ掲載
医療機関等へ郵送
【センター】 様々なイベント等を通じて紹介
- ③ 事業等に対する質問対応
- ④ 応募(研修内容の質問はセンター)
- ⑤ 実績報告(年度末)
- ⑥ 委託料の支出